

國學院大學學術情報リポジトリ

〔談話室〕 國學院大學での幸運

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 久野, マリ子, Kuno, Mariko メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/00000450

國學院大學での幸運

久野マリ子

平成三十二年三月で定年を迎える。二八歳からお世話になったから四二年間勤めたことになる。最初は今は名称が変わった國學院大學日本文化研究所の嘱託調査員だった。これも今は名称が変わった東京都立大学大学院博士課程を満期退学してすぐのことであった。七年後幸運にもフルタイムに身分変更になった。

國學院大學では様々な経験をさせて頂いたが、わけでも国際交流に関する体験は貴重であった。

日本文化研究所が内モンゴル大学の若手研究者を招いたとき、日本語教育担当になった。ブリン・バトゥ氏という方で、内モンゴル大学では一番日本語ができる学生だったと後から聞いた。彼に毎日書いてもらう日記の添削では、母語以外の人が書く日本語に文法的には正しいが日本語では言わない表現や、発想の違いに気づく幸運な体験となった。

次に日本語とモンゴル語の「口」に関する語彙と慣用表現の対照研究を共同で行うことにした。当時、研究所プロジェクトで全日本方言基礎語彙を比較していたので、同手法でモンゴル語との語彙対照を試そうと思ったのである。結果、モンゴル語の「口」を表す語「アム」は日本語の「口」とは違い、唇を含まず口腔と咽頭の一部を指すこと、「口」を使った慣用表現が多くて日本語とは異なる発想があることがわかった。

次の幸運として、国際交流基金専門家派遣プログラムで一年間サンパウロ大学に客員教授として招かれた。サンパウロ州に日本語を話す日系人が多いこと、同じ日系人二世、三世でも日本語能力の程度に大きな差があることに驚いた。親が子供に与える言語環境によつて差があるので、日本では国が決めてくれる教育環境を個人が判断しなければならぬという事情があったことに思いが至り、衝撃を受けた。ポルトガル語の学習を通して、文章を書く能力と、聞く能力、話す能力が別物であることを思い知らされた。サンパウロでできた友達とは今でも親交がある。

一九九六年に文学部に移籍し、またしても幸運にも国外派遣の機会を頂いた。サンパウロ大学の時の友人を頼って、ブラジルでの日本語研究・教育の現場を見ることができた。サンパウロ大学、ブラジリア連邦大学、サンパウロ州立パウリスタ大学、カンピーナス大学での日本研究・日本語教育を、アリアンサという日本語学校での一般人向けの日本語教育を様々なニーズに合わせた教育現場を観察できた。

そこで、驚いたことがある。ブラジルの日系人学生は日本語能力が高いが書記体系が異なるため漢字は苦手なことが多い。それなのに日系企業は採用時の日本語能力を「せめて新聞くらいは読める能力」とするため、学生への評価が低く低賃金で働くことになる。日本では想像し難いが、ポルトガル語は話すのは簡単だが書くのがとても難しい。教養のある文書を書くには高等教育での知識と訓練が必要である。日本語科の日系人学生は、高度なポルトガル語力に加えて日本語が堪能で、日本人の感性を理解しているから、企業としては願ったり叶ったりの人材であるにもかかわらず評価は高くない。日系企業が要求する日本語力の基準は日本人向けであって、ブラジル人に対しては高すぎるように思う。サンパウロ大学の学生はポルトガル語の他に日本語、英語、ドイツ語、フランス語ができるから、漢字が不得意でも日本語と英語とポルトガル語ができるというので、アメリカ系企業で高給で迎えられていると聞く。ブラジルでは日系人は正直で働き者という評価があり、日本語も日本人もステータスが高い。移民として渡ったその方々が今も日本語を大切にしてくれている。ありがたいことだと思う。

その後、イタリアのベニス大学、ロシアのモスクワ国際関係大学、ポーランドのワルシャワ大学、タイバンコクのタイ商工会議所大学などで、日本語専攻の授業を見せて貰った。サンパウロ大学やヨーロッパの大学では日本語の古典・古典文法を重視したカリキュラムとなっていた。ベニス大学では、万葉仮名や古典文法や書道の実習まであった。モスクワ国際関係大学では二年生でNHKのBSニュースをそのまま教材に使っていた。ワルシャワ大学ではどんな要人の通訳でもできる日本語が目標で、一科目でも落とすと退学になるため、学生は毎日講義以外に六時間は予習復習をしているとのことであった。タイ商工会議所大学では、学生が自ら問題を見つけてアンケート調査を行い、エクセルで纏めたものを演習で発表していた。

そして偶然の幸運で台湾の南台科技大学から集中講義に招かれた。その縁で毎年日本語教育実習が行われ、本学との提携も結ばれた。ベニス大学との提携も結ばれた。本学での海外交流が盛んなことは嬉しいことである。

(現代日本語・音声学)